



オンラインゲームのこと どうしていますか!?

WHO(世界保健機関)もゲーム依存を「新たな病気」と認定するなど、スマホやオンラインゲームなどの中毒的な利用が世界的に大きな問題になっています。対戦型・戦闘型のオンラインゲームについていろいろな指摘がありますが、皆様方のご家庭では、どのように対応されていますか?

■よく聞かれる問題点

①「子どもの言葉遣いが悪くなった」と感じている保護者の方が多い。

・「死ね」「カス」「消えろ」などの暴言が、口癖のようになっている。

②生活が夜型になりつつある。

・熱中し、夜遅くまでゲームをしてしまいがち。睡眠不足で授業中ウトウトしてしまうことも多くなる。

③保護者の知らないところで課金の問題が発生していることがある。

・親に無断で数万円もの額をつぎ込むなどの事例も出ている学校もある。

③知らない人とも会話ができるので、個人情報流出することがある。

・ボイスチャット機能などを使い、知らない人とも話ができる。

■保護者の声 (一部)

○うちは、オンラインゲームは一切禁止している。トラブルになることが予想されるし、早く始めれば依存性が高まるという調査結果もある。

○「みまもり設定」で時間を区切ったり、「課金制限機能」など、しっかりと制限することを約束させてやらせている。「ゲームは1時間以内、宿題をしてから」「課金はダメ。ボイスチャットもダメ」などのことを言い聞かせ、OKにしている。

■保護者の皆様へお願い

ゲームを使って遊ばせるかどうかは、各家庭の判断です。しかし、オンラインゲームの中には対象年齢を15歳以上しているものもあり、小学校段階では推奨されていないものもあります。子どもに使用を認めるのであれば、時間、場所等の約束をしっかりと話し合い、必ず約束を守るという方向でお願いします。制限のない使い方は、数年先に厳しい状況を招きます。小学校段階は、脳が出来上がる時期です。お家の人といっしょに楽しい時間を過ごすことが一番大切なことだと思います。

■ ノーメディアデー、ノーゲームデーの実施について

表面でも書きましたが、はじめある使い方のために、テレビやスマホ、オンラインゲームを見ない、しない日を設定したいと思います。

日時は、10月12日(月)、13日(火)、14日(水)です。

おうちの方が、小さい頃のことを語ってあげたり、親子読書や読み聞かせ、家族でトランプなどをして過ごしてみたいかたがでしょうか。

■ 4年 社会見学実施〔9月11日〕

伝統産業会館、南部浄化センター、四日市港ポートタワーを見学。それぞれの場所での検温、バスに乗るときの消毒等、コロナ対策もしっかりとして実施しました。

“笑顔あふれる学び”となりました。子どもたちの感想を下に載せます。

○「社会見学の朝」

「おはよう」。私は、社会見学の日、いつもより早くスッキリ起きられました。

「おはよう」。パパとママが言いました。そして、ママが、「弁当、こんな感じでいい？」と言って、とてもにぎやかでかわいい弁当ができました。「うん！めちゃかわいい！バッチリ」と言いました。そして、朝ごはんを食べて、着替えて、弁当をリュックに入れて、準備完了になったので、「行ってきま〜す」と大きな声で言いました。すると、「いってらっしゃい」と言ってくれました。

とても心がホカホカしました。

○「南部浄化センター」

くんくん くんくん 何かいろんな物が混ざったにおいがすると、私は思いました。ここは、南部浄化センター。汚れた水をきれいにし、海か川にもどすところです。いろんなものが混じったにおいができた原因は、私たちなんです。私たちが作った汚れのにおいなのです。自分で作ったにおいなんだから「気にしない、気にしない」と私は自分に言い聞かせました。

この言い聞かせが止まったのは、働いている人の話を聞いている時です。質問タイムで、Kちゃんが「どうして、南部浄化センターで働こうと思ったんですか」と質問しました。すると、働いている人は、「そうですね……。やりがいがある仕事だからです」と答えたのです。私は、「この人は、においを気にしていない。はじめて来た私がにおいのことを気にすることじたいだめだ」と反省しました。

他にも、皿の油汚れをふくと、浄化センターの人が楽になることや、水は、いろんな機械を流してきれいな水になることを学びました。



令和2年度交通安全図画ポスター—作品入賞者

鈴鹿市教育長賞 3年 古賀理子 特別賞 七夕会交通安全委員長賞 2年 坂田結南

入選 4年：石川翔梧, 6年：宮崎茜